

# 北朝鮮弾道ミサイルに関する警戒会議

## 【日時】

令和4年10月4日（火）午前9時30分から

## 【場所】

災害対策本部室（鳥取県庁第2庁舎3階）

## 【参集範囲】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、総務部、生活環境部、農林水産部  
自衛隊、警察

※市町村、各総合事務所等には、映像配信

## 【議題】

- （1）事案の経過と現状
- （2）県の対応方針
- （3）その他

# 1 ミサイル発射の状況(報道内容)

## 【発射日時】

令和4年10月4日(火)午前7時22分頃

## 【ミサイルの種類及び発射数】

弾道ミサイルとみられるもの1発

## 【発射地点】

分析中

## 【落下推定位置】

日本の排他的経済水域(EEZ)外～日本列島東約3,000km余りで落下の可能性

※約4,000km以上飛行、最高高度は分析中

# 全国瞬時警報システム(Jアラート)による 緊急情報伝達状況

## 3都道県

【発射情報】(07:27)北海道、青森、東京都

【通過情報】(07:29)北海道、青森

※本県には、エムネットによる情報伝達



## 2 日本政府の動き

【時間】	【概要】
07:22	・北朝鮮が弾道ミサイル発射
覚知直後	・官邸対策室を設置 ・緊急参集チームを招集
07:27	・発射情報をJアラートで伝達
07:29	・発射情報をJアラートで伝達
07:30	・Jアラート対象地域に対し、適切な対応と被害報告等について要請
07:42	・通過情報をJアラートで伝達
07:44	・ミサイルが東北上空を通過して太平洋上に落下
08:10	・官房長官が緊急記者会見
08:22	・総理が記者団にコメント「暴挙を強く非難する」
08:45 ~08:55	・国家安全保障会議開催

# 【総理コメント】

令和4年10月4日

- ・最近の度重なる弾道ミサイルの発射に続く暴挙であり、強く非難する。

## （総理指示事項）

- 1 落下物等による被害の確認
- 2 情報収集・分析の徹底
- 3 関係国との連携

### 3 県の対応状況(初動対応)

07:27 内閣府からミサイル発射情報受信

→直ちに漁船等の安否確認を開始

→職員参集メール等で庁内情報共有

07:30 知事が会議開催を指示

07:43 内閣府からミサイル通過情報受信

07:46 内閣府からミサイル落下推定情報受信

※北海道・青森県沖での漁船

の操業はないことを確認

08:23 鳥取県関係の安否確認完了



## 【知事コメント】

令和4年10月4日

- ・弾道ミサイルを放ち日本上空を飛ばす暴挙は、言語道断であり、強く非難する。
- ・県は、関係船舶の安全を確認したが、核実験の可能性も含め当面警戒を続ける。政府におかれては、拉致問題解決も含め、国際社会とともに断固たる対応を望む。

## 【県民へのお願い】

令和4年10月4日

- ・ミサイルは、既に日本の上空を通過したとの情報です。
- ・不審な落下物には近づかず、警察や消防に通報してください。
- ・今後も国又は県が発信する情報に注意してください。



# 【拉致被害者家族(松本 孟氏)コメント】

令和4年10月4日

- ・北朝鮮がこのようなミサイルの発射をしたことには、信じられない気持ちだ。こんな緊張を高める危険で無駄なことはやめてほしい。
- ・家族としては、岸田総理には先頭に立って他の国と協力して京子が早く帰国できるように進めてほしい。

# 【県の体制】

＜情報収集・連絡調整＞

◆市町村・関係機関との連携

◆情報の伝達に万全を期すため3手段を確保

## ■Jアラート

国→県・市町村への情報伝達(文字・音声の送信)

※防災行政無線を通じて自動放送(鳥取県では、近畿、中国、四国地方に飛来する可能性がある場合のみ)

## ■エムネット

国→県・市町村・消防局等への情報伝達(メールによる添付ファイル送付)

## ■消防防災無線FAX

国→県→市町村・消防局等への情報伝達

＜住民等への情報提供＞

■県ホームページ(携帯電話用も含む。)、あんしんトリピーメール、ツイッター、フェイスブック、Lアラート、災害情報ダイヤル(電話0857-26-8100)、Yahoo! 防災速報による情報提供

■報道機関、市町村を通じた情報提供

◆各部局の対応

<p>危機管理局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の収集、集約及び伝達</li> <li>・国、市町村、関係機関(自衛隊・海上保安庁・警察・消防)との連絡調整</li> <li>・住民広報(令和新時代創造本部と共同)</li> </ul>
<p>交流人口拡大本部 (観光戦略課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落下後の国内便への安否確認</li> </ul>
<p>生活環境部 (環境立県推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング態勢を強化</li> </ul>
<p>農林水産部 (漁業調整課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落下区域操業予定の漁船の把握</li> <li>・漁協、漁船関係者への注意喚起</li> </ul>
<p>教育委員会 (教育総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋実習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認</li> </ul>
<p>共通</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万が一に備えた対策</li> <li>「屋内退避等の呼びかけ準備」</li> <li>「県内に着弾した場合の対応準備」</li> </ul>

# (資料) 令和4年に入ってからからの北朝鮮ミサイル発射状況

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
①	1月5日 (水) 08:07頃	極超音速ミサイル 1発 ※約マッハ6と推定	北朝鮮内陸部 茲江道一帯	日本海 (EEZ外)	約50km (通常より低い)	約500km
②	1月11日 (火) 07:25頃	極超音速ミサイル 1発 ※約マッハ10と推定	北朝鮮内陸部 茲江道一帯	日本海 (EEZ外)	約50km (通常より低い)	700km以上
③	1月14日 (金) 14:50頃	「短距離弾道ミサイルA」 2発 (鉄道発射型／固体燃料推進方式)	北朝鮮北西部 平安道・義州	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	約50km	約400km
④	1月17日 (月) 08:49頃 08:52頃	「短距離弾道ミサイルB」 2発 (固体燃料推進方式)	北朝鮮西部 平壤近郊 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	約50km	約300km
	1月25日 (火)	巡航ミサイル 2発	咸鏡南道	北朝鮮東岸付近の 標的無人島付近	飛行軌道に沿って 9,137秒間飛行	北朝鮮上空を巡回 1,800km (北朝鮮発表)
⑤	1月27日 (木)	イスカンデル型短距離弾道ミサイル 2発 (車両発射型)	咸鏡南道咸興付近	北朝鮮東岸付近の 標的無人島付近	約20km (ディプレッド軌道)	約190km
⑥	1月30日 (日) 07:52頃	IRBM(中距離)級弾道ミサイル 「火星12型」 1発 ※地上発射型の中距離以上の 発射は2017年11月29日以来	北朝鮮内陸部 茲江道舞坪里	日本海 (EEZ外)	約2,000km (ロフテッド軌道) ※約30分間飛行	約800km

# (資料) 令和4年に入ってからからの北朝鮮ミサイル発射状況

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
⑦	2月27日 (日) 07:51頃	ICBM(長距離)級弾道ミサイル 1発 ※ICBM級は2017年11月以来 ※「偵察衛星重要試験」との発表	平壤近郊 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	約600km	約300km
⑧	3月5日 (土) 08:47頃	ICBM(長距離)級弾道ミサイル 1発 ※「偵察衛星需要試験」との発表	平壤近郊 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付 日本海 (EEZ外)	約550km	約300km
⑨	3月16日 (水) 09:30頃	ICBM(長距離)級弾道ミサイル 1発	平壤近郊 順安国際空港付近	空中爆発? (飛翔せずと推定)	不詳	不詳
⑩	3月24日 (木) 14:33頃	新型ICBM(長距離)級 弾道ミサイル 1発 ※明らかなICBM級ミサイルの 発射は2017年11月29日以来	平壤郊外の 順安国際空港付近	北海道渡島半島 西方約150km 日本海 (EEZ内)	約6,000km ※71分飛行で 過去最長	約1,100km
⑪	4月16日 (土)	不詳(何らかのミサイル)	不詳	不詳	不詳	不詳
⑫	5月4日 (水) 12:02頃	弾道ミサイル 1発	北朝鮮西岸付近	朝鮮半島東側 日本海 (EEZ外)	約800km (ロフテッド軌道?)	約500km
⑬	5月7日 (土) 14:06頃	SLBM弾道ミサイル 1発 ※潜水艦発射弾道ミサイルは 2011年10月19日以来	朝鮮半島東岸 新浦付近	朝鮮半島東側 日本海 (EEZ外)	約50km (変則軌道)	約600km
⑭	5月12日 (木) 18:28	弾道ミサイル 3発	北朝鮮西側付近	北朝鮮東岸 日本海 (EEZ外)	約100km	(通常軌道であれば) 約350km

# (資料) 令和4年に入ってからからの北朝鮮ミサイル発射状況

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
⑮	5月25日 (水) ①05:59頃 ②06:42頃	①ICBM(長距離)級弾道ミサイル ②短距離弾道ミサイル ※06:37頃にも発射との情報 弾道ミサイルか? (高度約20kmで消失か?)	平壤近郊 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	①約550km ②約50km	①約300km ②約750km (変則軌道)
⑯	6月5日 (日) ①09:06頃 ②09:10頃 ③09:15頃 ④09:24頃 ⑤09:30頃 ⑥09:41頃 ※ 報道は 計8発	短距離弾道ミサイル (核弾頭を搭載可能なミサイル) 少なくとも6発 ※ 1日の発射回数では2006、 2009年の7回を超えて最多 ※ 核弾頭を搭載可能ミサイルを 一斉複数発射の能力を誇示か ※ 防衛省情報では少なくとも6発 で他にも発射した可能性あり。 ※ 6月6日04:45頃米韓両軍 が日本海上に地対地ミサイル 計8発を発射(対抗措置)	計4か所 (移動式発射台) ①北朝鮮西岸付近 ②北朝鮮東岸付近 ③北朝鮮西岸付近 ④北朝鮮内陸部付近 ⑤北朝鮮西岸付近 ⑥北朝鮮内陸部付近 ※ 韓国軍情報は 平壤近郊の順安、 平安南道の价川、 平安北道の東倉里、 咸鏡南道の咸興 から各2発発射	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	①約50km ②約50km ③約50km ④約100km ⑤約50km ⑥約100km (一部変則軌道)	①約350km ②約300km ③約400km ④約350km ⑤約400km ⑥約300km
	6月12日 (日) 08:07~ 11:03	放射砲(多連装ロケット砲) 5発 ※ 放射砲は韓国を射程圏	北朝鮮西海岸地域	黄海	不明	不明
	7月10日 (日) 18:21~ 18:37	放射砲(多連装ロケット砲) 2発 ※ 放射砲は韓国を射程圏	黄海沿岸	黄海	不明	不明
	7月11日 (月) 午前中	放射砲(多連装ロケット砲) 2発 ※ 放射砲は韓国を射程圏	黄海沿岸	黄海	不明	不明

# (資料) 令和4年に入ってからからの北朝鮮ミサイル発射状況

	【日付】	【種類】	【発射地点】	【落下地点】	【最高高度】	【飛翔距離】
	8月17日 (水) 午前中	巡航ミサイル 2発	北朝鮮西部 平安南道	黄海	不明	不明
⑰	9月25日 (日) 06:52頃	弾道ミサイル 1発	北朝鮮西部 平安北道・泰川付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	約50km	(通常軌道であれば) 約400km (変則軌道)
⑱	9月28日 (火) ①18:10頃 ②18:17頃	短距離弾道ミサイル 2発	平壤近郊 順安国際空港付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	①約50km ②約50km	①約350km ②約300km
⑲	9月29日 (水) ①20:47頃 ②20:53頃	短距離弾道ミサイル 2発	平安南道 順天付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	①約50km ②約50km	①約300km ②約300km
⑳	10月1日 (土) ①06:42頃 ②06:58頃	短距離弾道ミサイル 2発	北朝鮮西岸付近	北朝鮮東岸付近 日本海 (EEZ外)	①約50km ②約50km	①約400km ②約350km (変則軌道)